

外交交渉における「規範」の使い方 —EUの基本条約改正交渉を素材として—

EUのなかの交渉に参加する各国政府およびEU諸機関は、自分たちが望む交渉結果を得ようと、様々な形で「規範」を戦術的に使っています。

交渉の中で使われる「規範」とは一体どのようなものなのでしょうか。その「規範」は戦術的にどのように使われるのでしょうか。その戦術利用は交渉結果をどれほど左右しているのでしょうか。

この講演では、EUの一連の基本条約の交渉を分析対象として取り上げ、規範の戦術利用という角度から、EUという組織の特質についてお話をさせていただきます。

■日時: **7月21日**(土) 13:30~15:00

■場所: 関西学院大学上ヶ原キャンパス
大学図書館ホール

■講師: **武田 健氏**
(東海大学政治経済学部講師)

■司会: **市川 顕氏**
(東洋大学国際学部准教授／関西学院大学産業研究所客員研究員)

■参加費: 無料(一般参加可、申し込み手続き不要)

<講師プロフィール>

政治学博士(英国・ブリストル大学)。早稲田大学日欧研究機構(現・地域・地域間研究機構)次席研究員、早稲田大学政治経済学術院助教を経て現職。専攻は国際関係論、EUの政治。

